



システム要件

- [Microsoft Hyper-V の導入 \(1 ページ\)](#)
- [KVM の導入 \(1 ページ\)](#)
- [VMware ESXi の導入 \(3 ページ\)](#)

Microsoft Hyper-V の導入

サポートされる **Microsoft Hyper-V** および **ホストオペレーティングシステム**

AsyncOS バージョン	Hyper-V
AsyncOS 11.0 (Web) 以降	Hyper-V バージョン 5.0

Microsoft Hyper-V 導入のハードウェア要件

サポートされるハードウェアプラットフォームは、Cisco UCS サーバブレード M3、M4、およびそれ以降のサーバのみです。

KVM の導入

KVM の導入に適した環境を次に示します。すべての導入で、ディスクストレージのシンプロビジョニングを使用します。

Red Hat Enterprise Linux Server

ホスト OS :

- Red Hat Enterprise Linux Server 7.5 (Maipo)

(Red Hat Enterprise Virtualization および Red Hat OpenStack プラットフォームはサポートされていません)

バージョン情報 :

- Linux : 3.10.0-1127.el7.x86_64
- libvirt/QEMU :
ライブラリにコンパイル済み : libvirt 4.5.0
ライブラリ使用時 : libvirt 4.5.0
API の使用 : QEMU 4.5.0
ハイパーバイザの実行時 : QEMU 1.5.3

ハードウェア :

- Cisco UCS C シリーズ 220/240 M5 でサポート
- Cisco Secure Email Virtual パフォーマンステストラボでは、2.6GHz で動作する Intel® Xeon® Gold 6126 CPU @ 2.60GHz プロセッサを搭載した Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) C シリーズ M5 サーバーを最低限使用しています。

KVM ドライバ

サポートされている KVM ドライバ :

- CDROM : IDE CDROM
- ネットワーク : E1000、Virtio
- ディスク : VirtIO

KVM パッケージ

ホストへのインストールに必要な/関連する KVM パッケージ

- qemu-kvm
- qemu-img
- libvirt
- libvirt-python
- libvirt-client
- virt-manager (X-windows が必要)
- virt-install

VMware ESXi の導入

サポートされる VMware ESXi Hypervisor

AsyncOS バージョン	VMware ESXi のバージョン
AsyncOS (電子メール)	
AsyncOS 14.2.x	6.7 および 7.0
AsyncOS 14.0.x	6.7 および 7.0
AsyncOS 13.7.x	6.5 および 6.7
AsyncOS 13.5.x	6.5 および 6.7
AsyncOS 13.0. x	6.5 および 6.7
AsyncOS 12.0	6.5 および 6.7
AsyncOS 11.1	6.5
AsyncOS 11.0	6.5
AsyncOS 10.x	6.5
AsyncOS 9.x	6.5
AsyncOS (管理)	
AsyncOS 14.2.x	6.7 および 7.0
AsyncOS 14.1.x	6.7 および 7.0
AsyncOS 14.0.x	6.7
AsyncOS 13.8.x	6.7
AsyncOS 13.6.2	6.7
AsyncOS 13.5.x	6.5
AsyncOS 13.x	6.5
AsyncOS 12.x	6.5
AsyncOS 11.5.1	6.5
AsyncOS 11.x	6.5
AsyncOS 10.x	6.5

AsyncOS バージョン	VMware ESXi のバージョン
AsyncOS 9.x	6.5
AsyncOS (Web)	
AsyncOS 15.0.x	7.0
AsyncOS 14.5.x	7.0
AsyncOS 14.0.x	7.0
AsyncOS 12.7.x	7.0
AsyncOS 12.5.x	7.0
AsyncOS 12.0.x	7.0
AsyncOS 11.8.1 以降	7.0
AsyncOS 11.8.0	6.5
AsyncOS 11.7.x	6.5
AsyncOS 11.5.x	6.5
AsyncOS 10.x	6.5

他のVMwareハイパーバイザについては「ベストエフォート」ベースでサポートされます。つまり、シスコで支援を試みますが、一部の問題を再現できない、または解決策を保証できない場合があります。

VMWare ESXi 導入時のハードウェア要件

Cisco UCS サーバ（ブレードまたはラックマウント）が、サポートされている唯一のハードウェアプラットフォームです。

ご使用の仮想アプライアンスをホスティングするサーバの最小要件は以下のとおりです。

ハイパーバイザの詳細：

- VMware ESXi 6.7/7.0（詳細については「[サポートされる VMWare ESXi Hypervisor](#)」を参照）

ハードウェア：

- Cisco UCS C シリーズ 220/240 M5 でサポート

他のハードウェアプラットフォームについては「ベストエフォート」ベースでサポートされます。つまり、シスコで支援を試みますが、一部の問題を再現できない、または解決策を保証できない場合があります。



- (注) ドキュメントに明示的に記載されている場合を除き、シスコは、IPインターフェイスの削除、アプライアンスの CPU コアや RAM サイズの変更など、Cisco コンテンツ セキュリティ仮想アプライアンスのハードウェア構成の変更をサポートしていません。このような変更が行われると、アプライアンスがアラートを送信することがあります。



- (注) VMWare ESXi 6.7 の導入は、AsyncOS 11.8.1-023 以降（Web セキュリティアプライアンス用）を搭載した Cisco UCS M4 および M5 シャーシサーバーでサポートされています。



- (注) VMWare ESXi 7.0 の導入は、AsyncOS 14.0.1-053 以降（Cisco Secure Web Appliance 用）を搭載した Cisco UCS M4 および M5 シャーシサーバーでサポートされています。

ESXi ドライバ

サポートされている ESXi ドライバ：

- ネットワークアダプタタイプ：E1000

（Hosted Email Security のみ）FlexPod ソリューションでの導入

AsyncOS for Email リリース 8.5 以降の場合：

FlexPod ソリューションの一部としての Cisco Secure Email Virtual Gateway の導入の詳細については、
<http://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/security/email-security-appliance/white-paper-c11-731731.pdf>
を参照してください。CCO ログインにより、このマニュアルにアクセスできるかどうかが決まります。

FlexPod の全般的な情報については、
https://www.cisco.com/c/ja_jp/solutions/data-center-virtualization/flexpod/index.html を参照してください。

FlexPod は、仮想 Cisco Secure Web Appliance または仮想 Cisco Secure Email and Web アプライアンスの展開には適用されません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。